

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 愛光電気株式会社
 コード番号 9909 URL <http://www.aiko-denki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月30日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 近藤 保
 (氏名) 大関 正一

TEL 0465-37-2121

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年3月21日～平成25年6月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,134	△3.2	△7	—	△7	—	△6	—
25年3月期第1四半期	2,205	△1.3	△13	—	△11	—	△4	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△1.57	—
25年3月期第1四半期	△0.93	—

平成26年3月期第1四半期より「仕入割引及び売上割引に関わる会計方針の変更」を行っております。詳細は添付資料2頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更をご参照ください。なお、平成25年3月期第1四半期の数値につきましては当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	5,267	1,863	35.4	425.44
25年3月期	5,366	1,879	35.0	429.05

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,863百万円 25年3月期 1,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年3月21日～平成26年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,124	11.2	48	649.7	47	494.1	21	—	4.79
通期	10,470	5.9	105	13.7	100	5.9	45	—	10.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期第1四半期より「仕入割引及び売上割引に関わる会計方針の変更」を行っております。詳細は添付資料2頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更をご参照ください。なお、第2四半期(累計)及び通期の増減率につきましては、平成25年3月期第2四半期実績及び平成25年3月期実績を、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料2頁「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更をご参照ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	4,411,000 株	25年3月期	4,411,000 株
26年3月期1Q	30,263 株	25年3月期	30,145 株
26年3月期1Q	4,380,738 株	25年3月期1Q	4,381,755 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビューを実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
会計方針の変更	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の経済・金融政策に対する期待感から、円安や株価の上昇など景気回復に向けた動きが見られたものの、雇用情勢や所得環境など実態経済の顕著な改善は見られず、株価上昇後の調整局面が長引くなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

電設資材卸売業界におきましては、LED照明、太陽光発電システム等の省エネ関連商材に活況が見られるものの、全体的には設備投資が本格的回復に至らず厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社においては4月に展示即売会「AIKOフェスタ2013」を実施致しました。結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,134百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

利益面につきましては、貸倒引当金繰入額の減少等により、販売費及び一般管理費の総額は367百万円（前年同期比4.7%減）となりました。これにより営業損失7百万円（前年同期は営業損失13百万円）となり、経常損失7百万円（前年同期は経常損失11百万円）、四半期純損失は6百万円（前年同期は四半期純損失4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は5,267百万円となり、前事業年度末に比べ99万円減少いたしました。流動資産は4,343百万円となり、103百万円減少いたしました。主な要因は現金及び預金の増加と、売上債権の減少による差額です。固定資産は924百万円となり、4百万円増加いたしました。主な要因は投資有価証券の時価評価増と、固定資産償却による減少との差額です。

当第1四半期会計期間末の負債合計は3,404百万円となり、前事業年度末に比べ83万円減少いたしました。流動負債は仕入債務等の減少により3,196百万円となり、前事業年度末に比べ91百万円減少いたしました。固定負債は前事業年度末に比べ8百万円増加しております。

これらにより当第1四半期会計期間末の純資産の部は1,863百万円となり、前事業年度末と比べ15百万円減少いたしました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

本日、平成25年7月25日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」で記載しておりますとおり、この会計方針の変更に伴い、売上高及び営業利益が影響を受けるため、今回修正するものであります。なお経常利益及び当期純利益に関しましては影響が無い為、修正を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成25年3月21日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

（仕入割引及び売上割引に関わる会計方針の変更）

従来、商品の仕入代金現金決済時に受取る仕入代金の割引については、営業外収益の仕入割引として処理し、売上代金現金決済時に支払う売上代金の割引については、営業外費用の売上割引として処理していましたが、当第1四半期会計期間より、仕入控除項目及び売上控除項目として売上原価及び売上高に含めて処理する方法に変更致しました。

この変更は、適用される仕入割引及び売上割引の割引率と市場の実勢金利との乖離が長期化し、金利としての側面が薄れ、その実態が商取引上の値引きに事実上相当していること、及び、適切な流通価格の形成を目的とした構造改革の一環として、当第1四半期会計期間よりこの取引を営業所単位の営業損益管理に折り込むよう経営管理方法を見直したことから、経営環境の変化と取引実態に即した、より適正な経営成績を表示するために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年同四半期については遡及適用後の四半期財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期累計期間の売上総利益が19,712千円増加し、営業損失が同額減少しております。また、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	940,303	1,265,658
受取手形	1,435,798	1,524,162
売掛金	1,733,057	1,153,848
商品	284,754	338,117
その他	94,538	86,598
貸倒引当金	△41,802	△24,885
流動資産合計	4,446,650	4,343,499
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	194,889	193,557
土地	325,930	325,930
その他(純額)	24,303	21,958
有形固定資産合計	545,122	541,445
無形固定資産	34,354	34,442
投資その他の資産		
投資有価証券	46,900	53,047
その他	353,082	357,732
貸倒引当金	△59,110	△62,188
投資その他の資産合計	340,872	348,591
固定資産合計	920,348	924,478
資産合計	5,366,999	5,267,978
負債の部		
流動負債		
支払手形	459,531	471,433
買掛金	826,676	676,191
短期借入金	1,800,000	1,800,000
賞与引当金	54,000	81,000
その他	148,102	167,798
流動負債合計	3,288,310	3,196,423
固定負債		
退職給付引当金	136,670	143,894
役員退職慰労引当金	62,392	63,928
固定負債合計	199,062	207,822
負債合計	3,487,372	3,404,245

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	611,650	611,650
資本剰余金	691,950	691,950
利益剰余金	574,812	554,783
自己株式	△9,201	△9,231
株主資本合計	1,869,210	1,849,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,415	14,581
評価・換算差額等合計	10,415	14,581
純資産合計	1,879,626	1,863,733
負債純資産合計	5,366,999	5,267,978

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年6月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年6月20日)
売上高	2,205,011	2,134,151
売上原価	1,833,369	1,774,444
売上総利益	371,641	359,707
販売費及び一般管理費	385,627	367,490
営業損失(△)	△13,986	△7,783
営業外収益		
生命保険配当金	693	707
その他	4,222	1,953
営業外収益合計	4,916	2,660
営業外費用		
支払利息	2,354	2,143
その他	14	55
営業外費用合計	2,369	2,198
経常損失(△)	△11,439	△7,321
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,038
特別利益合計	—	1,038
税引前四半期純損失(△)	△11,439	△6,283
法人税、住民税及び事業税	2,097	12,385
法人税等調整額	△9,454	△11,781
法人税等合計	△7,356	603
四半期純損失(△)	△4,082	△6,886

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。